資料７

平成２９年度における事業展開（案）　１／２

患者の状況から整理した救急医療における事業展開

救急車の適正利用・搬送手段の確保

○ 救急車の有効活用を進めるため、「**救急搬送トリアージ**」を実施

○ 在宅療養患者の病状変化時等の搬送手段としての、「**病院救急車**」を実施

○ 救急車を呼ぶべきか迷った時などには、「**救急相談センター（＃７１１９）**」、「**東京版救急受診ガイド**」を活用

救急医療機関の受入体制の強化

○ 入院患者のための空床を確保する「**休日・全夜間診療事業**」を実施
○ 緊急度の高い患者へ優先的に医療を提供するため、「**院内トリアージ**」を普及
○ 受入体制を強化するため、「**救急認定看護師**」の資格取得を支援
○ 医師等の負担軽減を通じた「**受入体制強化モデル事業**」を実施

平成２９年度事業展開（次ページ）

○ **精神身体合併症患者の受入対応への支援**
○ **吐下血患者の受入体制の確保**

円滑な転退院・病床の有効利用

○ 急性期後の円滑な退院を促進するため、「**退院調整看護師等**」の配置や「**転院支援情報システム**」を整備

具合が悪くなった時 → **救急医療を受ける時** → **救急医療を受けた後**

平成２９年度事業展開（次ページ）

○ **転院搬送における救急車利用の適正化**
○ **高齢者施設における救急対応の円滑化**

○ 地域のネットワークの中核となる「**地域救急医療センター**」を整備
○「**地域救急会議**」を開催

○ 地域救急医療センターでの継続的治療が困難な患者の「**受入支援事業（身体合併症・開放性骨折**」を実施

平成２９年度（資料８～資料１１）

○ 今後、高齢社会のさらなる進展にあって東京の将来を見据えた救急医療の充実を図るため、地域包括ケアシステムにおける迅速・適切な救急医療について今後の施策を検討